

学校教育目標	校訓『和 なごみ』 「つづける」「つながる」「つくす」 ～自ら学び、みんなと伸び、未来を切り拓く子どもの育成～
--------	---

評価計画						
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値
豊かな心（徳）	1	多様な他者を尊重し、協働できる児童の育成	あいさつの充実を図ることで、多様な他者と協働しながら他者を尊重できる学校生活を送ろうとする児童を育成する。	○あいさつの例を具体的に示し、目標設定や評価に生かすことで、自ら進んで元気よく、友達や先生、地域とつながるあいさつに対する意欲を高める。（目標設定と自己評価、他者評価）	○自ら進んであいさつができていると肯定的に答える児童の割合（児童アンケート）	90%
確かな学力（知）	2	主体的、協働的に学び続ける児童の育成	教科等の特質に応じたつけたい力を明確にしながら、「学びがつながる」授業づくりを行い、主体的で協働的に学ぶ児童を育成する。	○教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせた授業づくりに取り組む。 ○児童の実態を踏まえた「指導の個別化」や「主体的・協働的な学び」のできる授業づくりの工夫・改善に取り組む。	○意欲的に授業の工夫・改善を行っている教職員の割合（教職員アンケート） ○学習アンケートの「主体性」、「協働性」を見取る項目において肯定的評価の児童の割合（児童アンケート）	85%
健やかな体（体）	3	健康でたくましい心と体の育成	運動習慣の確立を目指し、年間を通して体力づくりに取り組むことで、基礎体力の向上を図り、自己や集団の目標にチャレンジしつづける児童を育成する。	○毎週のロング昼休憩等を活用し、外で体を動かす機会を確保する。 ○三ツ城タイムでいろいろな遊びを提案し、体を動かす楽しさを伝えるスポーツイベントを実施し、集団の目標に向かって体を動かす場を設定する。	○週2回以上1日20分以上運動する児童の割合（児童実態調査）	85%
地域とともにある学校づくり	4	保護者や地域に開かれた信頼される学校づくり	学校と地域が協働することで、子供たちの学びや成長を支えるための取組を行うとともに、地域、保護者への発信を通して信頼される学校づくりを行う。	○三ツ城の地域や人へ感謝の思いや愛着をもたせるために、地域と共に協働して行う授業や行事を実施したり、参加したりする。	○地域とともに協働して行う授業や行事を通して三ツ城の地域や人へ肯定的な思いをもつ児童の割合（児童アンケート）	85%
				○学校だよりやHP、コミュニティ・スクールだより等の発信を通して、学校の情報を保護者・地域に伝え、開かれた学校づくりを行う。	○学校の情報を地域・保護者に発信することを通して、信頼される学校づくりについて肯定的に答える保護者・地域の割合（アンケート）	85%
			子供と向き合う時間の確保と働き方についての意識の高揚を図る。	○業務改善について教職員一人一人が年間3つ以上の具体的な方法を設定・実践する。	○業務改善を進めることができた（達成度3・4）と答えた職員の割合	80%